



6月4日 全国手話言語市区長会の総会に出席いたしました。

今年11月15日から26日まで、耳の聞こえないアスリートのためのオリンピック「東京2025デフリンピック」が開催されます。

ごあいさつ

令和7年6月9日

6月3日から全国市長会の用務で東京に行ってまいりました。

全国市長会は、全国792の市長と23の東京特別区の区長により組織され、都市間の連絡協調を図りながら、市政の円滑な運営と発展を通して、地方自治の繁栄に寄与することを目的としています。より良いまちづくりを進めていくため、全都市に共通する課題や、単独の市では解決が難しい問題について、調査・研究を行い、決議や提言として国会や政府などにその実現を働きかけています。

6月4日には、全国の市区長が一堂に会する全国市長会議が開かれ、今年の決議案の審議が行われました。本市でもさまざまな分野において、石川県市長会をとおして国へ要望しておりますが、全国市長会としての決議や提言に盛り込まれているものもあれば、まだまだ、そこに至っていない要望もあります。これからも、野々市市政のために、粘り強く要望していくとともに、全国市長会のさまざまな会合をとおして働きかけていきたいと思っております。

6月1日からさわやかスポーツフェスティバルが開催されております。残念ながら雨で中止となった競技もありますが、いくつかの競技を回らせていただきました。参加された皆さんが、真剣に取り組むなかにも、笑顔で心からスポーツを楽しんでいることにとても嬉しく思いました。今月に入り、県民スポーツ大会の一部競技も始まっています。市民の皆さんのご活躍を心から期待しております。

梅雨の季節となりました。5月30日には本市の水防会議を開催し、来るべき大雨に備えて、水防体制の確認を行ったところです。先日の東京出張の際、「市長フォーラム」として気象予報士・森田正光さんの講演を聞く機会がありました。講演のなかで、森田さんは災害対応における「知識と訓練」の必要性を説かれていました。知識は情報の蓄積であり、情報技術が発展した現在、気象予報の精度は格段に上がり、スマートフォンなどにより、誰でも容易に情報を集めることができます。

温暖化により集中豪雨が頻発している昨今、変化する気象状況にしっかりとアンテナを張り、迅速な災害対策に繋げていくことをあらためて学ばせていただきました。